

チーム防災いずのくに（伊豆の国市）

日々の暮らしに反映しやすい 防災講座を継続実施

組織概要

- 女性が中心となった市民有志でつくる団体。2020年4月から開始して現在も継続中。
- 台風が来る時の備えや避難する時の心がまえを伝えることを目的に、年間を通じて防災講座の開催などの活動をしている。

きっかけ・課題

- 2019年10月に大きな被害をもたらした台風19号で、「避難体験者の声をきっかけに市民として何かできることはないか」という思いでチームを結成。
- 避難時の持ち出し品の不安や避難場所の不満が聞かれた中、ほとんどの人が「避難」のことをよく知らないことに気づき、「台風が来る前の準備のことを色々な人に知っておいてもらいたい」という思いで活動を始めた。

取組概要

- 避難時に知りたいこと役に立つことを把握するため市民にアンケートを実施。
- 一時ひなん防災かるた「いずのくに」を制作。
- 一時ひなん防災風呂敷「ittoki(いっとき)」を民間の企業（コアレックス信栄株）との共同で制作。
- 市内の公立幼保園にオリジナル紙芝居等を寄贈。
- 防災講座の実施 実績41回 1020名（2021年6月～2023年11月末まで）
- 結成から3年間、伊豆の国市市民提案型パートナーシップ制度を活用し、行政の協力やアドバイスを受けながら、活動の定着化を図る。
- 活動は各自が無理のない範囲で行い、メンバー同士協力しながら活動。今後は特に、将来の担い手となる学生に向けて、広く講座を開催していきたいと考えている。

ポイント！

- 仕事はもちろん、子育てや介護を経験しているメンバーの、様々な体験談を交えた講座は女性の口コミ力によって講座の輪が広がっており、日々の暮らしの中に「防災」を反映（取り入れ）しやすくなっている。
- 講座を繰り返すことで、「自助」の大切さを自分の意識の中に刷り込むことができると再確認している。



防災講座の様子

団体連絡先

- チーム防災いずのくに
- 代表 吉川 七苗
- 連絡先 090-3937-1116（事務局 渡辺 未美）
- HP
<https://teambink2020.wixsite.com/website>
- 出前講座は県内各地で開催します。ぜひお声がけください。

チーム防災いずのくに（伊豆の国市）

【団体よりメッセージ】

「防災」で一番に考えるのは、災害時の暮らし方だと思います。

「防災」という言葉に捉われると、敷居が高くなりがちですが、日々の暮らしの延長上にあるものだと考えて、その時の食事や暑さ寒さ対策、その時間の過ごし方を考えることが「防災」であると思います。

そして災害が発生した時、自分は事前にどうしていたら、いつもと変わらない時間を過ごすことができるか、そこを考えることが「自助」だと思っています。

私たちは、台風が近づいてきたときに、避難の有無にかかわらず、みんなが構えることなくその時間を過ごすことができるように、お手伝いをしているだけです。

備えは人それぞれで違います。

答えを出すのは講座を受けてくれた皆さんです。講座を受けていただくと、それが難しくはないし、構える必要もないことだと気付いていただけたと思います。そうやって皆さんそれぞれに必要な備えのヒントをお届けできると思っています。

ぜひ、チーム防災いずのくにの防災の出前講座を受講してみてください。